

平成26年度 サニー・サイト事業報告書

『就労継続支援B型・生活介護事業』

平成26年4月1日～平成27年3月31日

文責：管理者 下地 三枝子

1) 利用者支援の具体的なあり方

『共通』

1. 利用者の希望に添った個別支援計画を作成し、支援を行った。
2. 家族、グループホーム支援員、医師、看護職員と連携を密にし、極め細かな体調管理を行った。
3. 自主製品製造（クッキー）、軽作業や請負作業（ピザチラシ配布）、エコロジー活動（アルミ缶・インクカートリッジ回収と整理）、及び創作活動（さをり織り）等、体調に合った作業を選択し、取り組んだ。
4. 集団生活の中で、自主性・協調性・社会性を育めるよう支援を行った。
5. 音楽に合わせて楽しく体を動かす活動として、午後の作業開始後、一ヵ月交替でラジオ体操第二とレクダンスを継続した。
講師が見つかり、3月に2回音楽療法を実施し、今後も定期的に行う予定である。

『就労継続支援B型』

1. 自主製品（クッキー）の販路や受注を増やし、工賃向上を目指す。
授産会計（共通）売上げ合計 2,765,572円（25年度 2,768,133円）
繰り入れ金 314,378円（25年度 150,000円）
工賃 平均 6,834円（25年度 6,550円）
繰り入れ金が増えたこともあり、平均工賃が前年度より少し増えた。
2. 3社の下請けを継続したが、2月後半から1社（フジマサ）が材料不足との理由で作業量が極端に減ったが、担当職員の交替等もあり補填できなかった。3月に新規2社と交渉し、4月に作業を試してから契約を検討することになった。
3. 就労を希望する利用者2名について個々に懇談し、相談支援員と連携しながら段階を経て職業準備と就労支援を行った。
ハローワークへ2回同行。就労移行支援事業所の見学と就業・生活支援センター支援員との懇談を実施。

『生活介護』

1. 看護職員及び柔道整復師の指導の下、二次障害防止に努め、安全への配慮と共に健康活動を行った。
口腔ケアは毎週木曜日に行った。マッサージは6月から毎週月曜日実施したが、柔道整復師の都合で休みになることもあった。
2. 職員体制が不十分で、毎週1回は実施できなかったが、全体でレクリエーションや社会参加を目的とした外出訓練を27回実施した。
ソフィア堺の図書館に行ったり、日常的に気候の良い時、近所の公園でボールを蹴ったり、ブランコやすべり台をして軽く体を動かした。

2) 利用者支援の具体的内容

『共通』

1. 日課 (月～金)

9:30～9:45 朝礼・ラジオ体操・体調報告・各班作業予定発表

9:45～11:00 作業

11:00～11:10 休憩

11:10～12:00 作業

12:00～13:00 昼食 (各自。希望者は宅配弁当を利用)・休憩

13:00～13:05 福祉レクダンス・ラジオ体操

13:05～14:30 作業

14:30～14:40 休憩

14:40～15:30 作業

*クッキー作業は途中休憩なし

15:30～16:00 掃除・帰宅準備

16:00～ 終礼・帰宅

*金曜日・・・14:30 終礼・帰宅

2. 週間

木曜日 口腔ケア (希望者のみ) 実施。 協力医療機関：おのえ歯科

月曜日 マッサージ (生活介護利用者) 6月以降27回実施。(8回休み)

配達 毎週「美樹の園」「モンキーばなな」へのクッキーの納品、隔週「ぎやらりいみなみかぜ」「ファミリーマート堺一条通店」でのクッキー在庫チェックと入れ替えを実施。

3. 月間

販売訓練 支援学校4校に夏休み除き毎月1回、主に出身利用者が交代で参加した。

広報 毎月、編集担当者が「こんにちはサニー・サイトです」を発行し、深井清水町へ配布した。

ミーティング 今年度は、利用者代表が3人とも立候補で決まったため自主運営を目標にしたが、利用者からの議題がないため職員からの提案が多く、自主運営にはならなかった。(10回実施)

4. 年間

販売訓練 泉北カトリック教会6回、ナカ・ナカマネットワーク3回、堺市庁舎展示・販売会2回、健福祭、矯正展、農業祭、浜寺教会チャリティーバザーに参加。

外出訓練 ソフィア堺 (図書館・プラネタリウム) 6回、カラオケ2回、愛彩ランド3回
各誕生月の外食9回、さをりの森2回。

こやま公園、浜寺公園、深井小学校6年卒業音楽会、大仙公園自転車博物館、ハートフェアバザー、中区民フェスタ、バーベキュー大会、さかいボランティア・市民活動フェスティバルに参加。

季節行事 花見3回、福祉盆踊り大会、スポーツ・レクリエーション大会、ごくろうさん会、初詣など、外出訓練を兼ねて実施・参加した。

農園作業 農作物の収穫5回。(たけのこ、玉ねぎ、じゃがいも、栗、大根)

調理訓練 12月と3月実施。(各班おまかせと炊き込みごはん&みそ汁)

宿泊訓練 10月9日・10日(名古屋方面)、参加19名(欠席5名)職員10名。

施設外訓練 対象者なし。

5. サービス提供日

月曜日～金曜日。休所日は、①土曜、日曜、祝日 (不定期に行われる外出及び販売訓練等は除く)

①休所日の内、6月8日ハートフェアバザー、7月19日福祉盆踊り大会、8月23日中区区民フェスタ、10月25日さかいボランティア・市民活動フェスティバル、11月3日スポーツ・レクリエーション大会、12月23日調理訓練の他、作業繁忙期の12月6日と13日を開所したが、毎月1回以上の開所には至らなかった。

②8月13日(水)・14日(木)・15日(金)の平日(3日間)・・・盆休み

③12月29日(月)～1月2日(金)(5日間)・・・年末年始休み

H26年度年間開所日数：247日 延べ4,831名利用(一日平均19.6名)

6. 利用者推移

26年4月1日：23名、8月新規利用：1名、11月退所：1名、27年3月31日：23名

7. 利用者の健康管理

- ・家族・グループホーム支援員と連携し、毎朝起床後の検温実施。作業開始前の体調チェック実施。
- ・毎月、第1月曜日に看護職員による体重・体脂肪等測定、バイタルチェックを実施。
- ・6月11日・12日、耳原病院、6月20日・27日・8月21日、日野クリニックにて健康診断を実施。
- ・3月11日、堺地域産業保健センターに依頼し、嘱託医師による健診フォローを実施。
- ・変わったことがあれば、家族と情報交換を行い、利用者の健康状態や身体状況の把握に努めた。
- ・インフルエンザ対策の一環として11月14日と11月28日予防接種を実施し、流行時には、全員マスク着用や、入室時の手洗い・うがいを励行した。
- ・キセキクリーンによる毎朝施設内手すりの消毒と空中散布を行い、感染予防に努めた。

8. 通所支援

- ・自力通所の困難な利用者、現在11名を福祉車両での送迎を実施した。

9. 防災・避難訓練の実施と事故防止対策・対応 【個別事案別紙参照】

- ・自主訓練を2回行ったが、消防署の指導を受けての訓練は、実施できなかった。
消防用設備を維持するため、アルソック担当者による消火設備・避難経路の点検を受けた。
- ・職員対象の救急救命講習会を独自に開催できなかったが、深井校区の防災訓練に職員が参加した。
- ・安心・安全な環境づくりの立場から、職員が常に“気づき”ができるような意識改革(リスクマネジメント)をめざした。
- ・事故防止のための環境整備など、配慮してきたが、5件の事故が発生した。
- ・事故が発生した時、連携しながら対応した。関わりのある職員がすぐに報告書を作成し、その後職員会議で原因等集団で検討し、1週間以内に全職員が再発防止策を共有した。

3) 地域社会との交流

1. 取り組み

- ・特別支援学校での定期販売やイベント時の販売を通して交流を深めてきた。利用者とともに中区作業所交流会による「ナカ・ナカマネットワーク」販売には毎回(3回)参加した。
- ・休日の8月19日、午後から開所し、中区区民フェスタにも希望者が参加した。
- ・深井小学校6年生の職場体験受け入れ、卒業音楽会への参加が定着した。
- ・深井中央中学校、八田荘中学校、堺支援学校、泉北高等支援学校、通所希望者の実習、見学を積極的に受け入れ、交流を図るとともに啓発活動を行った。
- ・物品の整理も兼ねて4月にサニー・サイトでのバザーを実施し、いつでも気軽に来訪してもらえるよう来店者や見学者に対応した。(家族含め約20名来所)
- ・引き続き深井清水町自治会へ入会し、役員へ「ばなの木」を届け、新設した「はなのこみち」の周知・理解にも努めた。
- ・アルミ缶・インクカートリッジ回収の協力者も増え、留守の時でも回収場所に置かれていることが多い。

2. 広報活動

- ・活動の認知と障がい者への理解を深めるきっかけとなるよう、毎月「こんにちはサニー・サイトです」の発行と深井清水町への配布を継続した。3月で通算75号となった。
寄せられた感想や聞き取った住民の声を事業所や法人内に反映させながら、結びつきを深めてきた。
- ・法人機関紙「ばななの木」と後援会の「ばなな便り」を年4回発行するため、編集と発送準備に関わった。各事業所の現状、家族のおもいなどを多くの方に発信し理解と協力を求めた。

3. ボランティアの受け入れ

- ・作業を一緒に行う中で、利用者の気持ちや願いを察知し、側面から支えてもらえる存在として、積極的に受け入れてきた。
- ・今年度、新たに2名が増え現在女性4名が活動中。不定期に奈良県から2回来所の方もあった。
午前中 ほぼ毎日 1名 下請け作業
午前中 火曜日 2名 さをり織りと縫製品
午前中 木曜日 1名 下請けやクッキー作業
- ・クリスマスとバレンタインの取り組み時、期間限定（11月～2月）で新たに3名がクッキー作業の応援で携わる。期間中延べ67名参加。（内、職場体験に来た深井小6年生3名の土曜日2回と、募集案内を見た大学生2名の2回も含む）
- ・繁忙期を過ぎた時、新しい2名の方と懇談し、ボランティアをすることになったきっかけや経緯を聴くことができた。
- ・受け入れ側のあり方を学ぶため、3月19日開催された「ボランティア担当者研修会」に職員といっしょに下請け班リーダーの利用者1名が参加した。

4) 職員

1. 体制

26年4月	常勤職員4名、非常勤職員3名、送迎職員2名
6月	送迎職員1名退職、常勤職員1名体調不良により休職
8月	非常勤職員1名採用、（1コースを常勤職員が交代で送迎）
10月	モンキーばななから送迎職員異動
12月	常勤職員1名退職
27年1月	モンキーばななから常勤職員異動、送迎職員新規採用 相談支援員が非常勤職員として兼務
3月	非常勤職員1名退職
4月	常勤職員3名（休職1名）、非常勤職員4名、送迎職員2名でスタート

2. 研修

- ・利用者への理解を深め、適切な支援・対応が出来る専門性の向上を図るため、可能な限り研修に参加した。
- ・積極的に法人がバックアップし、2名が介護福祉士の資格を取得した。

5月27（水）	「高次脳機能障害者の就労支援について」	1名
6月18（水）	「高次脳機能障害」	1名
24（火）	「よりよい日中活動を考える」	2名
26（木）	「食品衛生講習会」	1名
7月23（水）	「精神に障がいがある方への支援」	法人内研修
31（木）	「精神科薬物療法の基礎知識」	1名
8月20（水）	「障がい当事者の現状と今後について」	法人内研修
9月17（水）	「相談支援業務を通じて個別支援計画を考えてみよう」	法人内研修

10月15 (水)「ヘルパーを利用して生活することについて」	法人内研修
11月18 (火)「感染予防対策講習」	1名
26 (水)「ボランティア講座」	1名
1月9 (金)「サービス管理責任者研修」	1名
20 (火)「サービス管理責任者研修」	1名
21 (水)「サービス管理責任者研修」	1名
2月14 (土)「障害者の人権について」	2名
18 (水)「適切な座位姿勢」	1名
25 (水)「リスクマネジメント」「虐待防止に関する意識について」	法人内研修
26 (木)「非食品製品コンプライアンス」	1名
3月11 (水)「移動介助法と体の使い方研修」	1名
19 (木)「ボランティア担当者研修会」	1名

3. 職務分担

課せられた職務を遂行する上で、個々の職員が過重負担にならないよう配慮してきたが、体制の不十分さから生活介護の計画に充分取り組めなかった。

そんな中でも各自が創意・工夫しながら、積極的に取り組む姿勢が希薄だった。

4. 健康管理

健康診断は全員が受けたが、1名が病気のため休職となった。

5) 家族会・家族との連携について

1. 家族会担当者を設け、家族会からの貴重な意見には真摯に傾聴し、出された要望については積極的に対応した。
2. 3月25日、恒例になった自力通所者の表彰式の後、職員と家族会の懇談会を開催し、家族8名とサニー・サイト職員2名、はなのこみち職員3名が出席する。
事前アンケートを基にグループホーム利用や休日の開所について意見を交換した。
3. 電話、連絡ノートを活用し、事業所や自宅での様子や普段と違ったことなどを個別に、家族と情報交換・連携し、日々の支援を行った。
4. 家族と連携する中で利用者の全体像を把握し、個別支援計画に反映させた。